

水練りの方法（粉末タイプ）



まず、容器に清水を入れてください。
※粉を先に入れますと、ままだ粉（粉の固まり）ができやすく、また、周囲への粉の飛散が多くなります。

材料が周囲に飛散しないよう、そっと材料を加えてください。

かくはん機で十分に時間をかけて練ってください。



かくはん機のブレード面に材料がしばらくの間とどまる程度の固さにしてください。材料がブレード面の穴からすぐに流れ落ちてしまう場合は、練り水の量が多すぎます。

濃度	練り水の量	塗り回数
7kg/m ²	1袋に約14.7ℓ	2

練り水の量（目安）は袋に記載

練り水の量について

自然素材である珪藻土は、採掘場所によって吸水率が異なるため、製造ロットによっては、袋に記載の練り水の量では不足、あるいは、過剰となる場合があります。

練り水の量はひとつの目安としてお考えください、現場の温度湿度、下地の吸水状況等により、練り水の量を加減してください。



⚠️ ご注意

- 「樹脂」は絶対に入れないでください。必要ありません。
- 夏季など、水引きが激しい場合や施工面積が広い場合は、仕上材の1回目の塗りに使用する材料に、粉つものまた（海藻のり）かメトロースを入れても問題ありません。
- 夏季は気温の上昇に伴い、硬化速度が速くなりますので、少量ずつ水練りしていただくか、材料の入った容器を涼しいところで保管し、温度を上げないようにしてください。
- ワラの混練りは問題ありませんが、『砂』の使用は避けてください。

4 **練り置き（5～10分）**
（NSRの場合は5分程）
※季節により調整してください。

●NSR-3（モミガラ粉末入）は、モミガラから出るアクで着色されます。練り時間や練り置き時間の長さにより、色の濃淡に差が出ます。



再度、練り直してから施工してください。

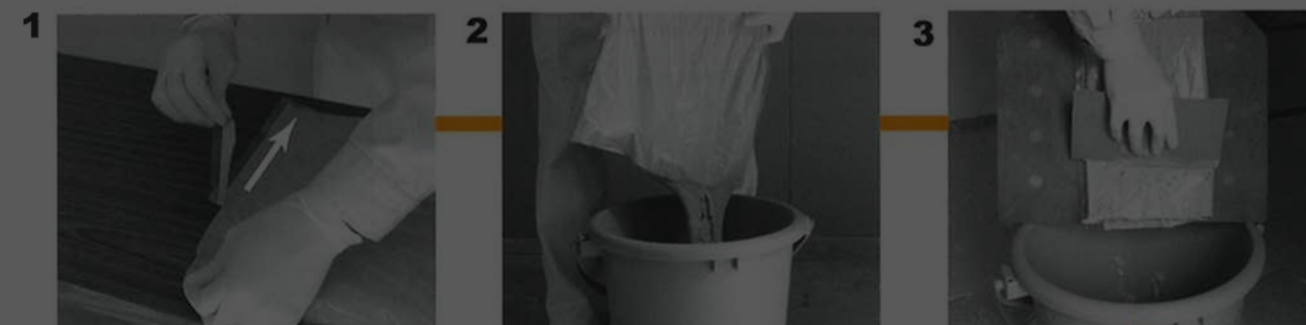
練った材料は
当日中にご使用ください。

ペーストタイプの取り扱い方

※袋から材料を出す前に、袋ごとよく揉んでおきます。



【材料の出し方-1／ヘラを使う方法】

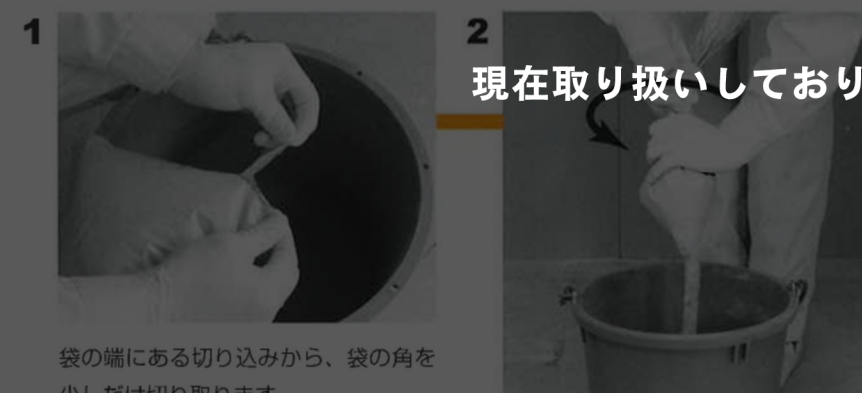


袋の端にある切り込みから開封します。

袋を軽く振って、材料を容器に落とし入れます。

袋を二つ折りにして、コテ板の上に置き、ヘラを使って袋の中に残っている材料をしごき出してください。

【材料の出し方-2／袋をしぼる方法】



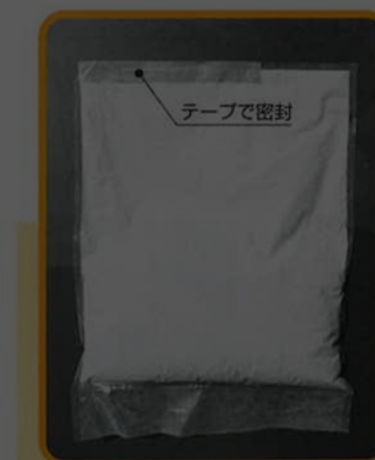
袋の端にある切り込みから、袋の角を少しだけ切り取ります。

切り口の対角線上の角から、袋をしっかりとねじりながら、材料をしぼり出してください。

梱包箱を切ってヘラ代わりに使うこともできます。



現在取り扱いしておりません



開封した材料の保管方法

開封した材料は、空気に触れないよう口をテープなどでふさぎ、保管してください。そして、早めに使い切るようにしてください。

すでに水練りされているので、そのまま施工できます。なお、もう少しやわらかくする必要がある場合は、小さじ単位の水を加えてかき混ぜ、施工しやすい硬さに調整してください。

材料をやわらかくしすぎると、ダレる原因になりますので、水の入れすぎ・練りすぎにご注意ください。